

民報 ゆうばり

不戦の誓い・空知平和集会に150名が参加

憲法を生かす住民自治で豊かな地域づくりを

◆ 全体会の後援で、
◆ 「憲法と地方自治を
◆ 暮らしに生かす地域
◆ づくり」として、京都
◆ 大学大学院教授で自
◆ 治体問題研究所理事
◆ 長の岡田知弘さんが、

8月21日、札幌市
コンベンションセンター
において開催された、
市町村議会議員研修
会に参加した、くまが
い桂子(市議)が寄稿
します。

地域と住民の暮らしを守る地方自治



地域・自治体問題研究所

—現在の国と対等・平等な自治体から物言えぬ自治体へ?!—

憲法と地方自治を暮らしに生かす地域づくりを

90分にわたって話され
た内の「是非皆さんに
お伝えしたい、ごく一
部」をお伝えします。
◆安倍流「富国強兵」
◆安倍政権下での経
◆民間企業から常勤
◆安倍流「富国強兵」
◆安倍政権下での経
◆民間企業から常勤
◆安倍流「富国強兵」
◆安倍政権下での経
◆民間企業から常勤

住民ひとりの生活が維持・向上すること

型国家づくりと政官
財抱合体制く多国籍
企業が活動しやすい
武器輸出・原発再稼
働・輸出要求(首相の
業の意向を反映。さ
財界後援会・三菱・東
らに、国から地方自
法15条侵害の恐れ

◆警察、司法の幹部
も官邸が握ることの危
険性↓三権分立が機
能不全に！↓不当判
決や人権侵害の捜査、
立件、判決の増加や
社会運動を抑圧する
可能性大
◆社会保障を含む公
共サービスの産業化で
劣化の懸念
◆道州制の導入に向
け、つなぎの「地方創
性」↓日経連は道州
制を「究極の構造改
革」と位置付け、47
都道府県を10程度の

「不戦の誓い・空知平和集会」



空知11市民団体
協力・共同の輪さらに

8月27日、南空知憲法共同センターや平和運動フォーラム空知地域協議会など、11団体による実行委員会主催の「不戦の誓い・空知平和集会」が岩見沢市民会館2階音楽室で開催されました。

実行委員会を代表して、平和運動フォーラム空知地域協議会竹田議長が挨拶、その後、南スーダンPKO派遣差し止め訴訟弁護団事務局長の池田賢太弁護士の「暴走する日本社会と改憲のねらい～ヘイトにみられる社会の右傾化と改憲にどう向き合うか～」と題する講演に150名の参加者が耳を傾けました。

池田弁護士は、「憲法13条、すべて国民は個人として尊重される。個人の尊重を認めないヘイトスピーチ(差別発言)を許さない、世論を構築することが大切。憲法はまだまだ使える。身近なことを例に、自分の言葉で憲法を語ろう」と参加者へ訴えました。

講演後の交流の場では、地域からの報告として、市民と野党の共闘をすすめる南空知1市4町の会を代表して、栗山の須田幸子さんが、これまでの取り組みの様子を報告し、さらに「運動を広げ仲間を広げるにはどうしたらよいか」とアドバイスを求めました。



池田氏は、「ヘイトスピーチを認めないという困難な課題に、あきらめずに取り組むことが重要」と答えました。

最後に、自治労滝川支部の伊藤たかしさんが、「知人・友人をはじめ広く一般市民に平和の大切さを訴え、この空知の各地域・各職場から平和運動を強力に推進していきましょう」との集会アピールを提案し、参加者一同の拍手で採択されました。

今こそ《憲法をくらしの中に生かす》ことの重要性を広げよう! 読んでみて!「新しいポケット憲法」 <http://pocketkenpo.com>

★グローバルリズムの中で、「経済性」「短期的な金儲けの追及」と「人間性」「命と人間らしい暮らしの尊重」の対立↓主体的な運動こそが解決の道。
★グローバル競争に左右されない『個性重視』の地域づくりが重要
★国や自治体を少数の大企業でなく、主権者(国民・住民)のものに!

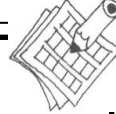
州に変え、浮いた財源でインフラと企業誘致に活用。市町村合併を推進し300基礎自治体に(人口30万人規模)国は外交、軍事、通商政策、道州政策、産業基盤、経済政策、高等教育政策、基礎自治体は、医療、福祉、義務教育等身近な行政サービスのみ。



「無名碑」法要開催される

8月27日、末広墓地で、無名碑の法要が執り行われました。僧侶の読経がつづくなか建交労夕張支部野呂義則委員長をはじめとして組合員が続いて焼香をおこない、くまがい桂子市議や夕張労連・議長の筒井勇治さん、市の関係者の方々なども碑前を手を合わせました。今年もあらたに2名の方を合祀し過去帳に記名し奉納されました。

くずさんの夕張歴史散歩(94)



明治維新「堀基」と北炭 ⑤ 11

資本金六百五十万円

問題は予定していた六百五十万円の資をどう集めるかでした。創立規約によると、一株五百円として総株数は十三万株。うち発起人一人・二五

〇〇株ずつ受け持ち、計三万二五〇〇株。それに宮内省が特別に一万株を引き受けました。残りの八万七五〇〇株を一般公募としました。

すると、たちまち公募の「三倍に及ぶ盛況を示し」(北炭七十年史)、早々の公募打ち切りとなります。宮内省の一万株の意味は、皇室自身の財産確保であり、御料林*からの坑木*調達を容易にしました。

払下げの申請が認められ 新会社設立

こうして資本金にも用途が立ち、明治22年8月、新会社創立と幌内炭鉱と鉄道の払下げ・敷設および利子補給の申請をします。そして同年11月炭鉱と鉄道払下げと利子補給が決定されました。

ここに「北海道炭礦鉄道会社」が創立され、初代社長には堀基(官選)が就くこととなります。小樽の北有社の本社を、そのまま北炭本社に置きかえました。

*御料林 明治政府は議会と憲法制定に当たり、国会開設前に国有財産の多くを皇室御料地・財産とし、北海道では山林約200万町歩が御料林に編入された。

*坑木 坑道維持のため、鉄柱が使われるまでは、殆んど坑木を使用しました。その為、膨大な量の丸太が必要でした。御料林・官有林から立木のまま調達。旧石炭歴史村の遊園地(現在の錦橋の下)辺りと、生活館があった辺り(元天竜グラウンド)が貯木場になっていて、「土場(どば)」と呼ばれていました。



紙智子「国会かけある記」
参議院議員
紙智子

住民の思い聞ける有意義な「つづい」

北海道民にとっても台風が気になるようになりました。心配した台風が温帯低気圧に変わり、雨と強い風を吹かせて通り過ぎた二十六日の日曜日、秋を感じ空の色、高さになりました。気温は二十度前後、さわやかな風のなか、札幌市南区のふれあい祭りから北部民商のふれあい祭り、東区の女性の集いへと、三カ所を畠山和也前衆議員と一緒に移動しました。

南区では来賓の方から学校の統廃合の話が出ました。地域の小学校がなくなるために、四キロも離れた学校に通わなければならないと言います。どうやって通うの? スクールバスはなく「路線のバス停は雪を防ぐバス小屋も作る計画はない」と。地域には全く知らせずに進めようとしていることに厳しい目が注がれていると言われました。

東区女性の集いは「いま気になっていることをカードに書いて、その心は何かを語り、討論しあう」という企画です。「戦後生まれで直接戦争体験はないが、父や周りの人から聞いた話が強く残り、戦争は絶対ダメ」と思ってきた。安倍政権の改憲にストップをかけた「とカードから思いが語られます。つながりカードから一人一人の考え、思いを聞くことができ、演説会では聞けない有意義なひと時を過ごしました。

北海道では昨年に続いて九月、日米共同演習(ノーザンヴァイパー)が計画されています。「沖繩の負担軽減」は嘘、危険なオスプレイを使い「戦争する国づくり」につきすすむ演習は断じて容認できません。